

あいどぴあ

相原まちづくり協議会情報誌

1999年

1月25日

第 3 号

発行 相原まちづくり協議会
広報委員会

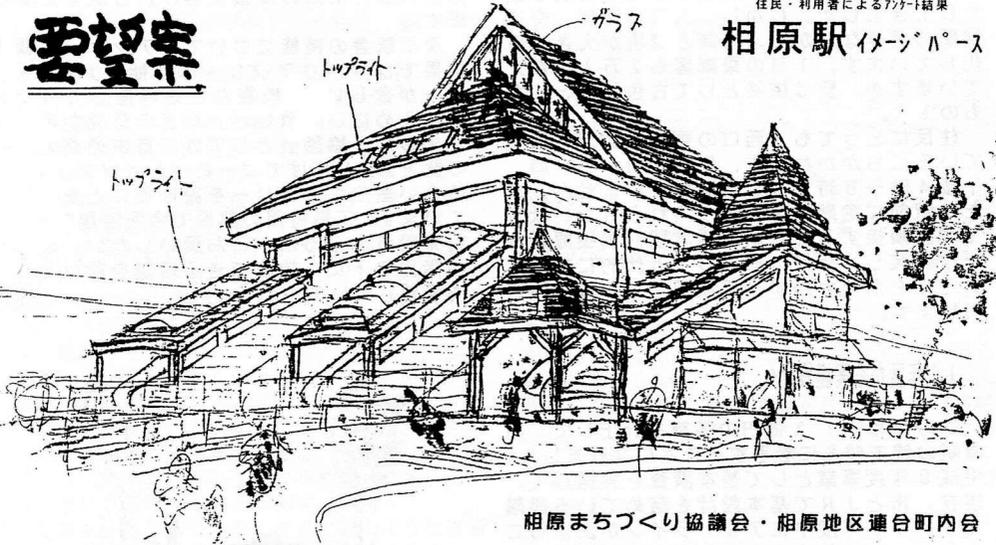
責任者 木下 眞

所在地 町田市相原町 1241 番地
Tel 042(774)8705

要望案

住民・利用者によるアンケート結果

相原駅 イメージ パース



相原まちづくり協議会・相原地区連合町内会 市に対する要望案

新相原駅舎が平成14年度までに完成へ

エレベーター、エスカレーターも

相原駅舎が平成14年度を目途に新しくなります。関係筋からの情報によると、橋上駅となり、東口側と西口側を駅舎で結ぶ自由通路も確保されます。新駅は、両側にそれぞれエレベーター、エスカレーターが装備され、近代的な駅に生まれ変わります。長年にわたる相原住民の要望がやっと実現することになります。

相原まちづくり協議会では、相原連合町会と一緒に相原らしい駅舎にするよう、上記のようなイメージパースを作成して市に要望してきました。

橋上に6車線の自由道路

計画図面案(3号を参照)から、新駅の全体像を見てみましょう。

まず、駅の位置が現在のものより、わずかに町田街道寄りになります。

駅の改札、駅務室などは橋本駅のように橋上になります。東側と西側に階段だけでなく、エレベーターとエスカレーターがそれぞれ設置されます。ただ、このエスカレーターは昇りだけです。

橋上には、東西に6車線の自由道路ができます。これにより、東西の行き来が、楽になります。これまでのように町田街道の踏切を回るような、不便なことも無くなります。

橋上から駅ホームに乗降するため、階段のほか、「八王子みなみの」駅の様にエスカレーターが設置されます。また、ホームまでエレベーターも計画されています。これは、高齢者や身体障害者たちへのバリアフリーの機能を持たせるためです。

なお、JR側では「これから協議するもので、まだ、何も決定していない」と語っています。

駅建て替えまでのスケジュール案

平成10年度	基本設計
平成11年度	実施設計
平成12年度	工事着手
平成14年度	完成

駅建て替えを「まち」活性化の 起爆剤に

相原駅は明治41年9月に完成し、90年間にわたり、相原町の玄関としての役割を果たしてきました。しかし、人口の増加、交通機関の発達などから、当時と環境が大きく変化しています。1日の乗降客も2万人を数えています。駅は依然として古色蒼然としたものです。

住民にとっても、西口の乗降客数が増加しているにもかかわらず、午前6時～10時、午後4時～8時までしか開いていません。また、駅前に定期バスも乗り入れられない状況です。隣接する片倉駅、橋本駅、相模原駅などは新装し、時代に対応して近代的になっているにもかかわらず、相原駅だけが取り残されています。

11年度から実施設計へ

このため、15億円の予算を計上して、相原駅の建て替えに着手することになりました。平成9年度事業として基本調査を実施して、現在、市とJRで基本設計を詰めている段階です。10年度中にアウトラインが決まることになっています。11年度から実施設計に入ります。それができ次第、工事を着工します。市では、できるだけ前倒しで行い、「早ければ13年度中にでも完成させたい」としています。

新駅の計画図面案は3面なのですが、「これは決定ではなく、変わることもある」としています。

相原の風景に溶け込む駅を

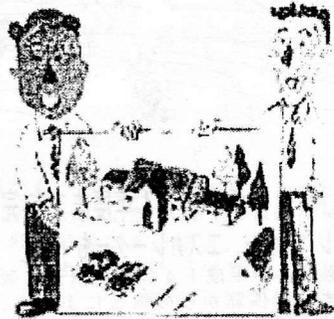
相原まちづくり協議会は、相原地区連合町内会と共に、市に対して次ぎのような要望書を提出しています。

相原まちづくり協議会では、平成10年に相原駅のあり方について、住民や利用者の意見をアンケート調査しました（この結果は平成10年3月発行の「あいとびあ」に掲載）。まず、駅舎イメージとしては「相原らしい駅を」「相原の風景に溶け込むような駅を」「こころが和むような愛らしい駅」「全部木で作って欲しい」などがあり、全体的には現代的和風の駅を希望している意見が目立ちました。

協議会としては、他の駅で見かける四角四面の建物でなく、屋根の形をはっきり打ち出

し、親しみやすさを表すため、「あずまや風」の出入口を設けることを要望しました。また、素材は出来れば、自然の木を要所に配し、心が和む空間に「愛らしさ」をこじんまりとした感じを生み出すようにすべきでしょう。駅舎の屋根に当たる部分は大屋根として、独自性や特徴（相原らしさ）を持たせ、色は緑色にすれば、相原の風景に溶け込む駅舎になります。

次に駅舎の機能について、アンケート調査結果では「バリアフリーの機能を」「ギャラリーが欲しい」「地震などを考慮してガラスは控えめに」「欲しい」などの意見が多くありました。協議会としては、自由通路の北側の壁を、少し広げてコーヒーストップ、書店、待合室やギャラリーを設けることを要望しています。工事費用の関係で今回無理ならば、将来設置出来るようにお願いしたい。改札外の階段の下にも飲食できる店舗を設けることも要望しています。



市長「特徴のある駅舎にしたい」

これ対して寺田和雄市長は11月20日の相原地区連合町内会及び相原まちづくり協議会との懇談会で次のように回答しています。

1. 建設予定としてJR側に文書で建設に同意する旨ができています。計画では、平成10年度で基本設計、11年度実施設計、12年度工事着手、14年度完了となっています。
2. 駅舎のデザインはこれからJRと相談します。新幹線の各駅のようにどこでも同じでなく、一目で相原駅だとわかる特徴のある駅舎を希望しています。管理はJRなので管理しやすい駅にしてくれと云うと思いますが、市としては案を出していきたい。駅舎の場所は現行よりやや橋本寄りになるのではないかと予想しています。

駅舎の建て替えにあわせ道路整備を

住みやすく、車の出入りも自由に出来、相原町の中核になるような駅周辺の開発は多くの住民の要望です。このため、駅舎の建て替えと駅前開発が同時に行われることが理想です。まして、相原駅周辺は整備が遅れ、大型自動車も自由に入れない状態です。特に西口の駅前には、細い道しかありません。乗降客は西口が多いだけに、駅の人の流れが変わります。新駅完成後、自動車の往来などで問題になることが予想されます。このため、道路整備をあわせて実施するよう希望します。

駅前開発計画は以前から、「であいふれあ」創造のまち」として提案されてきました。市は「相原駅周辺土地区画整理事業」を平成7年10月に全体説明会を行っています。

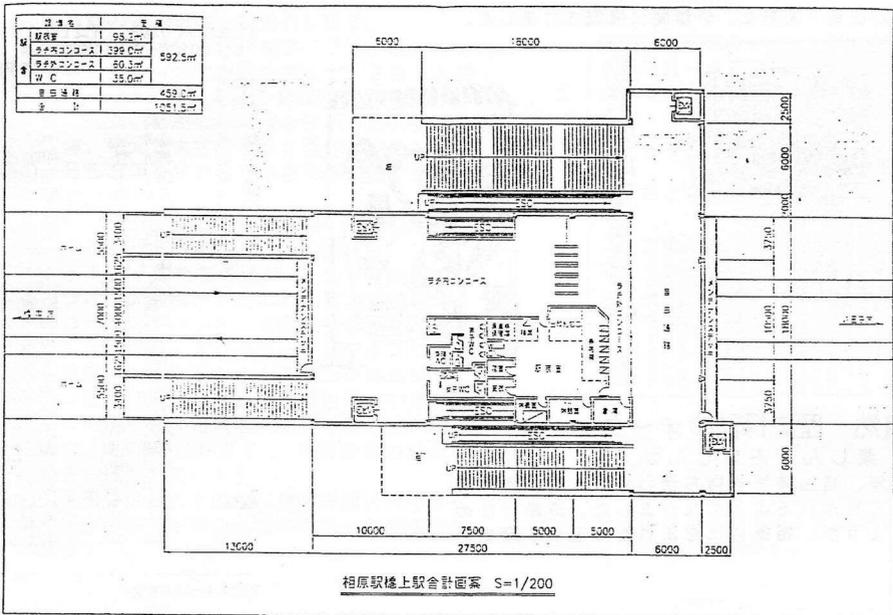
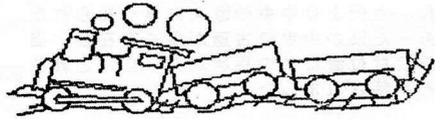
それによると①相原駅前広場（東側、西側とも）を整備し、まちづくりの核にする②駅周辺及び町田街道沿いの商業地の活性化をはかる③横浜線と町田街道の立体交差事業を行い渋滞緩和につとめる④細街路を広く、機能を整備して災害に強いまちづくりを行うとしています。

区画整理事業について、現在、最初の現況測量を実施していますが、一部住民の理解がまだ十分得られず、進展していません。区画整理にこだわっていると駅舎の建設が遅れるため、区画整理と切り離して進めることにしています。しかし、道路は緊急性があるため、整備をすべきでしょう。

区画整理も、時代に取り残されないように、1日も早く、徹底的に話し合いを進め、地域あげて、美しく、住民に便利な、活力あるまちづくりにする必要があります。

相原駅建て替え計画案

図面上部が西口、下部が東口



「境川上流域の古代」の講演会 を開催

相原まちづくり協議会では、昨年6月に『風水で解く境川上流域の古代』と題して歴史研究家の松本司氏による講演会を開きました。今、相原では駅が橋上化で建て替えられようとしています。これを機会に区画整理による「まちづくり」が計画され、すこぶつ変化を遂げようとしています。この講演会では、古代(平安時代)の相原周辺が、中国の都市計画手法である四神相応・吉祥の地、玄武、青龍、朱雀、白虎を東西南北に配し、自然から得るエネルギーを都市の繁栄の源にしようとする考えを基に計画されていたという驚くべき事実が報告されました。

なにげなく相原の景色を眺めていても見えないもの、しかも、歴史的に価値の高いものが多く点在しています。例えば古窯跡群が数十という数で埋もれているとか、また、神社や仏閣が一定の法則に基づいて配置されている他、相原・小山の丘陵地帯が「玉のよこやま」と呼ばれ万葉集に

雲さそう 峰のこがらし
吹靡き 玉の横野に
あられ 降るなり

と歌われ、古代より中央の歌人に良く知られた場所であったほか中世の古道が多く存在し、当時から重要な位置にこの相原があったなど興味深いことが話されました。

相原散策絵図の発行

絵図が広報「まちだ」や新聞に掲載されました。



自然・歴史探訪ウォークを 楽しんでみませんか

近年、自由時間を持ち合わせた人達が歩く姿を良く見かけるようになりました。健康のためでしょうか。相原には恵まれたみどりや歴史的

に価値の高いものが沢山あります。

昨年、『相原散策絵図』が相原商業活性化委員会より発行され好評を得ており、この絵図を片手に実際に歩く人達が多くなって置かれました。絵図は堺市民センターや各商店に置かれ配布されています。今後、いろいろな団体がウォークの企画をしておりますので相原を再発見してください。

相原まちづくり協議会のこの一年

相原の町を取り巻く環境は徐々に牛の歩みのごとく前進しています。賛否両論渦巻く中、相原駅橋上化、相原中央公園、境川河川敷の工事進行、道路問題、踏切問題と盛りだくさんの話題が課題に上り、私たち協議会も98年度の理事改選以来、毎月3日の定例理事会も毎回新メンバーの積極的発言、行動により活発に推移致しております。

京王線の橋本駅開通や八王子みなみのシティ開発等の影響もあり、相原町の人口・世帯数の増加により、住環境の変化、自然環境の激変、特に相原駅の周辺区画整理問題は協議会(理事会)での最大のテーマであります。

まずは、自分たちの町を知ることから始めよう。歴史環境中心の政策、地域団体活動への積極的参加、相原駅周辺問題にはさらに積極的に取り組み、市当局との折衝と交流、そして、勉強会の実施や講演会の開催と幅広く活動しております。

“相原に住んでいて良かった”と思える活動を続けたいと考えておりますので、皆様方の御協力をお願い申し上げます。

相原まちづくり協議会 役員名簿
平成10年度～平成13年度

理事長	木下 眞	丸山 会
副理事長	今村 忠司	陽田 会
	島崎 伸也	境 町 会
総務	横溝 廣喜	中村 町 会
計	諏訪 賢一	仲町 町 会
査	白川 洋一	知土町地自治会
査	白川 純一	境 町 会
理	安里 純雄	坂下 町 会
	杉崎 太吉	坂下 町 会
	土田 基義	元橋 町 会
	林 盛生	元橋 町 会
	青木 幸雄	仲町 町 会
	伊藤 勉	陽田 町 会
	北島 政次	中井 町 会
	須田 國廣	知土 町 会
	和光 勇雄	知土町地自治会
	北島 進	知土町地自治会
	北島 一夫	中井町町会
	野宮 勝	武蔵町地自治会
	本徳 良	武蔵町地自治会
	城定 國光	大戸 町 会
	松本 昭雄	大戸 町 会
	八木 邦治	市議会議員
	井上 正人	市議会議員
	伊藤 泰人	市議会議員

3月28日に相原保善会30周年記念 イベントを開きます

財団法人相原保善会は、1月7日に設立30周年を迎えました。これを記念して3月28日に記念イベントを計画しています。

相原保善会は、歴史に培われてきた相原の江戸時代初期よりの入会地を基礎に明治38年の塚村相原、由井村宇津貫、横山村大船の三村共有地分割を経て、昔の人が多くの苦勞を重ね、維持されてきた貴重な共有地を管理運営し、全国にも希な小地域内の公益法人です。

『フェスタ相原 '99』の開催



保善会は30周年記念事業として①先人たちの苦勞を偲び感謝する供養祭 ②記念誌の発行 ③相原町民参加の「フェスタ相原 '99」を企画実施します。

記念誌の発行は昭和53年1月発行の「相原共有地沿革史」、平成8年12月発行の「明治大正の頃の相原」（法政大学多摩地域センター研究奨励特別賞受賞）に続いて「子供や孫に伝えたい話」一昭和激動の中の相原一を発行します。

記念イベント「フェスタ相原 '99」は、大地沢青少年センターの全施設を使って、3月28日に開きます。「子に伝えよう相原の縁と歴史」をテーマに町田市と相原地区連合町内会の共催、各公共団体、地元3大学の他62団体参加のもと、春の一日をお年寄りから子供までみんなで楽しむ集いです。

お囃子と獅子舞の郷土伝統芸能、手作り作品展示会、自然と歴史探訪ウォーク、模擬店、フリーマーケット、子供たちの遊び場、11町会参加によるカラオケ大会などが行われます。また、地元3大学のコーラスやバンド、鼓笛隊や堺中学校をはじめとする音楽会、プロのエーデルワイスによるチロル民謡、山々に響きわたるロングホルン、フラメンコ踊りなど盛り沢山に用意されています。

さらに町田市による環境問題と水質などの検査や展示なども開催されます。市民皆様の多数のご参加をお待ちしています。

相原保善会はこれを機会に自然保護と町の歴史の遺産保存の訓えを守り、次の時代へ継承運営していきます。

“玉のよこやま” ふるさと道まつり 相原を舞台に始まり

境川上流域に21世紀の子供たちに手渡すことができる、みどりと歴史ロマンを活かしたまちづくりを進めることを目的に「玉のよこやまふるさと道まつり」が2月から5月に掛けて相原を中心に開催されます。この催しは町田市職員組合設立40周年を迎えるにあたり、市民に還元できるものは何かとかがえ、実行されるものです。

1. 雨水の日に日の出を觀賞する会
2月19日 城山町川尻八幡
2. 小山を駆けぬけた歴史展
3月20日～22日 小山市民センター
3. 歴史街道探検隊
3月27日 武蔵岡～城山コース
4. フェスタ相原 '99
3月28日 大地沢青少年センター
5. 第1回みんなでウォーキングコースを造ろう会
七国山周辺
6. 第2回みんなでウォーキングコースを造ろう会
七国山周辺
7. 第3回みんなでウォーキングコースを造ろう会
七国山周辺
8. 風土歴史シンポジウム
4月24日
9. 朱雀コースオープン記念！
玉のよこやまウォーキング大会
5月1日～5月3日
 - ① 自然を楽しむファミリーウォーク
(ガイド付き半日コース)
 - ② 風水と歴史を学ぶウォーク
(ガイド付き一日コース)
 - ③ ふるさと自然体験ツアー
(親子ネイチャーゲーム)
～大地のささやきが聞こえますか
 - ④ フリーウォーキング(朱雀コースの各ポイントにガイドがいます)
10. まちづくりディスカッション
(シンポジウム)

5月

町田市相原町、小山町、相模原市、城山町、八王子市に活動する各団体が多数参加します。地元の皆様自分たちの廻りを歩きませんか。

5項～7項のコース造りはこどもからお年寄りまでみんなで造りましょうよ。

町田市都市計画 マスタープラン

町田市では町田市都市計画プランを策定しています。このプランは3月末を目標に次の内容から構成されています。①全体構成②地域別構成③都市像実現の方途の三つです。

平成10年7月に原案として発表され、この原案から地域別懇談会、マスタープラン素案、市民懇談会等を経て答申されます。

全体的な都市づくりの構想、構造方向としての基本目標は「豊かな環境文化と持続的な協力を持つ生活都市」としています。そのなかで市では8つの地域に分け策定します。相原は小山町と一つで考えられています。

大戸緑地を始めとする良好な自然環境を保全・活用するとともに、相原地区の整備等により、自然的な潤いの中に利便性を実現していく。多摩丘陵の豊かな緑を活かしたまちづくり、地域生活の中心となる観光や産業活動の拠点作り、丘陵の豊かな緑と地場産業を活用した豊かな環境文化を育成する場づくり。を基本的な方向としております。

ふれあいのまちづくりへ

現況の問題点として、道路交通では都市計画道路の整備の遅れ、特に東西方向をつなぐ道路の整備は遅れ、市街地から丘陵地の入り込む住宅地での道路網は不十分、相原駅周辺の交通広場や幹線道路の未整備、地域内の境川と支流の真米川、陽田川の河川改修の遅れ等が指摘されています。

まちづくりの動向としては東京都施行の相原小山土地区画整理事業、町田市施行の相原駅周辺区画整理事業の取組み、相原中央公園の建設、相原駅橋上駅舎・東西自由通路整備が考えられています。

相原・小山地域の基本目標として豊かな自然と人が育む町、「ふれあいタウン相原・小山」づくりを掲げております。豊かな自然と住む人・訪れる人が築き上げていく人と自然のふれあう町を作っていくと述べられています。

地域まちづくりの方針のなかで目に付くものは相原駅周辺の公共公益施設のバリアフリ

ー化を図る、境川周辺の学校などの公共用地の地域への開放、歴史資源や良好な社寺林などの保全と活用、地域内の公園・緑地、町田街道などを結ぶ遊歩道や公園への連絡道路整備、尾根沿いの遊歩道整備による歩行者ネットワークの形成、八王子や相模原方面からの来街者や地域住民との交流のための公共交通網の整備、等々が挙げられています。

安心して暮らせる地域を

またマスタープランへの市民提案として、「町田まちづくり市民会議」からも多数の参加で提案が準備されています。焼却・埋立てを行わなくて済む循環システム、水と土の都まちだの創造、市民優先・公共中心の人間優先都市、安心して暮らせる福祉文化のあるまち、個性ある自立的な地域と豊かな市民文化、防災、産業、住環境など、具体的な提案を提起しています。

今後の相原町がマスタープランをベースに市のまちづくりが進められると思いますが、我々としては何を一番はじめにして貰いたいのか、何を自分たちで創造していくのか、何を子や孫のために残していくのか考えてみませんか！



「子供110番の家」

運動の

発展を願って!

相原小学校PTA会長 龍口幸市

ここに来て、物騒な話があちこちで聞こえてくるようになりました。分別の付く大人でさえ、被害に遭っている昨今であります。ましては、子供など、無防備同然と言っていでしょう。我々相原の町でも、被害の大小こそあれ、例外地域ではありません。そんなおり、相原小学校PTAでは各地で推進されている「子供110番の家」運動を、昨年来検討してまいりましたが、年末より相原小学校区で実施する運びとなりました。この運動を始めると「子供110番の家」の看板が無いところは助けを求められない、と考えそうですが、我々は、そのような事は全く考えていません。むしろ、正々堂々と助けを求められる家が判ったという事であり、看板がない家に比べ「子供110番の家」を引き受けて頂く家は、誰か家にいる機会が多いと言うことを、子供達に宣言している(或いは、悪い事をするやからに示している)という意味でもある訳です。

犯罪がらみで困った時、付近にそのような看板がない場所では、当然近くの家へ、助けを求め、れば良い事だと考えております。さらに付け加えれば「子供110番の家」は問題が発生した後の対応であります。問題は、問題が発生する前、例えば、知り合いの子どもが、見知らぬ人物といるとき等には、ちょっと声をかけてみる、こんな事が、自然とできるような社会となることが、我々の願いでもあります。

この為には、地域の皆様の絶大なご支援を欠かす事ができません。相原小学校PTAは、子ども達が外で楽しく遊び学べる、そんな環境を、学校を含めた地域みんなで作って行きたいと願っており、「子供110番の家」もその一環と位置づけております。この主旨ご賛同いただき、「子供110番の家」をお引受頂ける場合は、相原小学校まで一報頂ければ幸いです。皆様のご協力をお願い申し上げます。

相原の歴史と自然の散策会を
行いました

相原を勉強しながら歩こうと、相原まちづくり協議会は昨年2回、歩く会を実施しました。これは、緑豊かな相原町に住んでいても意外と歴史や自然に触れ合っていないため、まず、自分の町の歴史などを良く知ってもらうために計画したものです。

1回目は、3月15日に相原駅より西側を歩き始め、まず梅の木沢の窯跡を、尾根づたいに七国峠、出羽三山の供養塔、大日如来、旧鎌倉街道、開戸の横穴墓群、長福寺、諏訪神社など歴史と自然にふれ合いました。

2回目は11月14日に、大地沢の自然の中を散策し、若宮八幡、雨乞いの碑、蔵王権現、草戸山に行きました。特に草戸山の見晴台から見る眺めは多摩丘陵を一望し、遠くは都庁まで見える、素晴らしい場所です。まだ相原は、この様に素晴らしい所が数多くあり、いつでも皆さんが歩ける様に散策図を作りたいと思います。相原まちづくり協議会では地域を知り、その上で新しいまちづくりを考えていきます。

相原には いい景色が、いっぱいあるよ!



いい景色だねー! こんな所に住んでいい!

相原駅は？ 区画整理は！

理事長 木下 眞

あけましておめでとうございます。

会員の皆様揃って、ご健勝に新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

さて、まず始めに、相原まちづくり協議会で会員とは、町会の会員の皆様が会員であることを御存じでしょうか。会の会費は各町会より年会費として1万円頂いており、これにより運営されていることをご報告申し上げます。

今、相原では、駅が橋上化で建て替えが計画され、11年度中には実施設計（実際に工事するための図面）ができ、12年度から着工の予定となっております。これを始めに区画整理についても活発な動きが出てくるものと考えられます。市は地権者や町民の皆さんの意見を広く採り入れるべく、その前段としていなげや駐車場横に「まちづくり相談所」を設置しています。計画が決定される前に相原の町として多くの議論を重ねておく必要がある訳で、冒頭に申し述べましたように町民は会員でもございません相原まちづくり協議会へ疑問をおおいに投げかけてください。

また、まちづくり相談所には田中さんという方が毎週火曜日と木曜日に皆さんのお出でを待っています。疑問や不安を取り除くことが区画整理を促進する方法だと考えます。

4面でご記載の通り、いろいろ論議すべき問題がございますが一日でも早く、相原の町が安全で住みやすく魅力ある町になることを願って新年のご挨拶とさせていただきます。

理事雑感

こどもに語れる『まち』に！

理事 Y・S

私が相原町に転居してきたのは、昭和49年12月でした。千葉市から来たため、最初は寒さが身にこたえました。都心に通勤しているため、当時は横浜線の列車の本数も少なく、遅くなって八王子駅で寒風の中、電車が来るまで長く待つことがしばしばでした。寝るために帰る「宿六」の生活をしてきたため「まちづくり」などということ、考えてみたことはありませんでした。

相原町は緑は多いし、星もきれいだし、夜は静かで、通勤時間除けば、住宅環境はとて良いところす。ただ、相原駅の西口が早く閉まってしまうため、いつも不便を感じていました。

しかし、相原まちづくり協議会の理事として会議に参加してみて、相原のまちをどうしたらよいか、真剣に考えている人が多くいることを知りました。皆さんの話を聞き、漠然と疑問に思っていた、駅周辺開発がなぜ進まないのか、商店街になぜ活気がないのか、分かるような気がしてきました。

私も、仕事の関係上、全国各地を視察する機会があります。ご存じのように、最近どの地方都市に行っても景観が美しくなっています。また、公園、広場、街路、水路など、地域に合った独自の工夫がほどこされているところが多くなりました。生態系を生かした環境調和型、快適空間創出型、生活文化活性型などと称してさまざま『まちづくり』『まちおこし』が展開されています。

周辺の八王子市、相模原市、多摩市などを見ても、まちづくりに対する息吹を感じます。

わが相原町も念願だった駅舎の建て替え、中央公園建設など、具体的なスケジュールが見えてきました。これらの核を中心に、緑の豊かな自然環境を生かした、相原らしい子供たちに誇りのできる、まちづくりを進める必要があります。そのためには、地域の盛り上がりは不可欠です。みんなで、協力して、住みよい相原にしたいものです。

編集後記

広報紙は定期的に発行するのが、理想的ですが、なかなか予定通りいかないものです。今回は相原駅舎の内容が明らかになってきたため、特集的に扱ってみました。また、まちづくり協議会の活動も紹介してみました。見ての通りのまったくの手作りの広報紙です。前回はワープロで作成しましたが、今回はパソコンを使ってみました。しかし、かえって時間がかかってしまいました。馴れないため、苦勞して作った画面が消えてしまったり、完成したのが、夜明け前と悪苦苦闘し、4人の編集スタッフはてんでこ舞いでした。

(今、島、横、須)